

# 校正証明書

依頼者 鹿児島大学病院 検査部 殿

品名 標準二重管温度計 1号

目盛範囲 0 ~ 50℃ 0.1℃

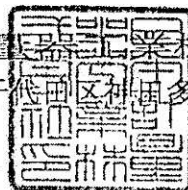
器物番号 No. 1105

上記計量器は、国家標準にトレースされた下記の当社基準器を使用して校正をした結果は別添の成績表の通りであることを証明致します。

校正に使用した標準器	目盛範囲	器物番号	備考
基準ガラス製温度計	-2~52℃	8014	

発行月日 2019年 5月 9日

日本計量器工業株式会社  
東京都千代田区神田多町2-9



## 比較検査成績表

器物の種類 標準二重管温度計 1号  
器物の番号 No. 1105  
目盛り範囲 0 ~ 50℃  
一目盛の値 0.1℃  
製造者記号 ⊕  
検査期日 2019年 5月 9日

当社基準器に比較して得たる成績は下記の通り

正確な温度(℃)	この温度計の示す温度(℃)
0	-0.11
10	9.98
20	19.90
30	29.90
40	39.92
50	50.02

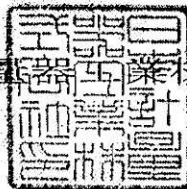
温度計は検査する温度の目盛まで検査槽の液中に浸して検査されたものである。

有効期間 2019年 5月 9日から 3年間  
(期間終了後は再検査の必要あり)

その他

2019年 5月 9日

日本計量器工業株式会社



# 基準器検査成績書

15G第 140 号

## 温度基準器

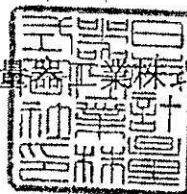
種類 基準ガラス製温度計  
型式又は能力 温度の範囲  $-2^{\circ}\text{C} \sim 52^{\circ}\text{C}$   
目 量  $0.1^{\circ}\text{C}$   
器物番号 8014

### (1) 器 差

表す温度	器 差
0 $^{\circ}\text{C}$	+0.03 $^{\circ}\text{C}$
10	0.00
20	+0.03
30	+0.09
40	+0.08
50	-0.01

- (2) 器差の補正の方法 真実の温度は表す温度から器差を減じて求める。  
(3) 有効期間 平成27年 7月18日から平成32年 7月17日まで  
(4) 用途又は使用の方法  
(5) その他

日本計量器工業株式会社

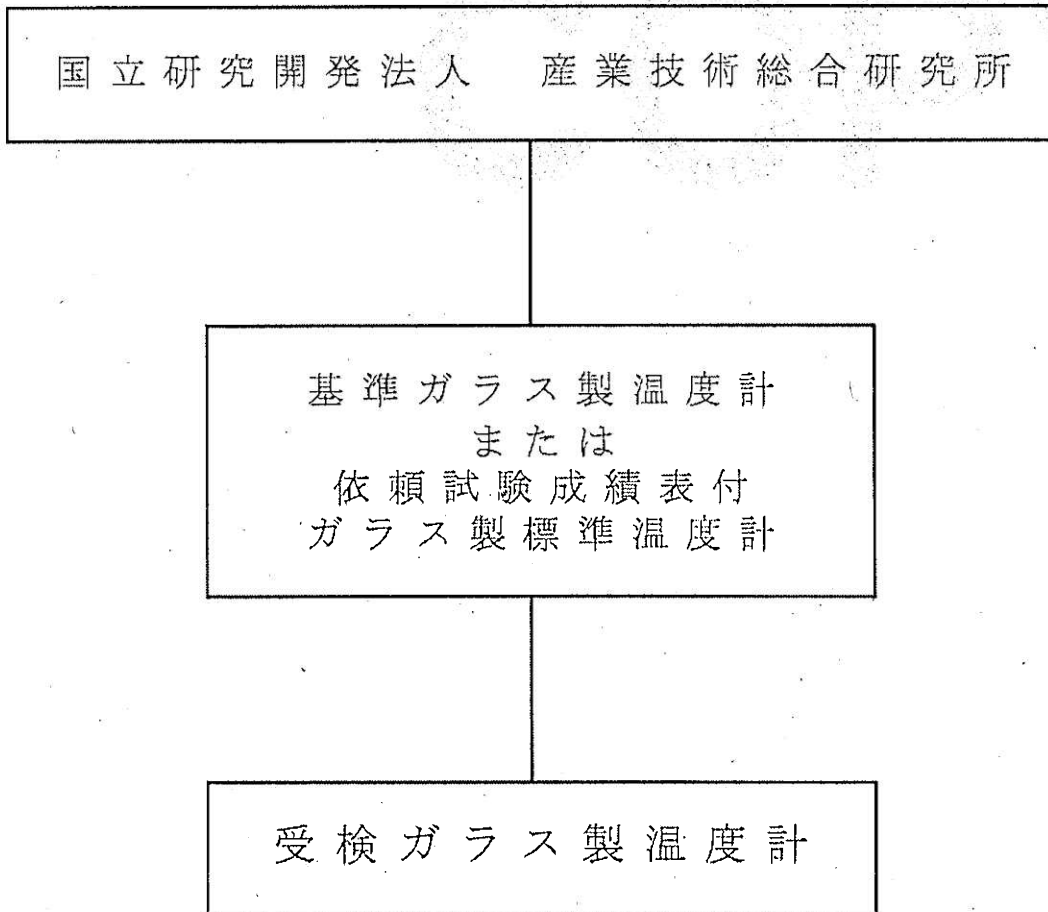


平成27年 7月17日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所



トレーサビリティ体系図



2019年 5月 9日

日本計量器工業株式会社

